

特集 ひと☆人

自信と笑顔のあふれる学校に

吉岡中学校 校長

たかはし しん
高橋 伸 さん



インタビューの藤多ゆかり議員と

Q吉岡町でのお勤めが長いそうですね。

A平成17年から8年間、吉岡中で教諭をしました。子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができて幸せでした。また、学年の保護者や部活動の保護者に協力していただき、とても感謝しています。その後、役場教育委員会事務局に6年勤務し、役場の皆さんや地域の人にお世話になりました。行政の面から学校のお役に立てたかなと思っています。その後明治小2年、吉岡中2年と校長としてお世話になっています。



Q吉岡町は教育方針として HiBALI プランを掲げて実践しています。その中で特にどのようなことが重要だと考えますか。

Aとにかく ICT の活用が注目されますが、ICT の活用が目的ではなくて、子どもが主体となった学習が HiBALI プランの根幹だと思うので、ICT の活用の有無に限らず、子どもたちが学習に対して主体的に取り組むことが大切だと思います。

Q吉岡町は若い子育て世代が多数移住し、子どもの数が増えています。その中でどのようなことに配慮していますか。

A本校は大規模な学校であることを生かしながらも、一人一人の生徒にしっかりと目を向け、成長を支援しやすくなる環境づくりを大切にしています。また、部活動で多様な種目を選択できることが本校の強みの一つです。多様な活動を通じて豊かな経験を積み、交流を深められるよう、教職員とともに積極的に関わっています。

Q町議会や町政に望むことはありますか。

Aいつも吉岡中へのご配慮に感謝しています。吉岡町の唯一の中学校として期待されていることを感じつつ、これからも教職員と一緒に、子どもたちに関わっていきたいと思います。

Q最後に町民の皆さまに一言お願いします。

A皆さんが大切にされている吉岡中学校をより一層、自信と笑顔のあふれる学校にできるよう尽力いたします。温かく見守っていただければ幸いです。



3年生を送る会で卒業生にあいさつする高橋さん

皆さんに聴きました

議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聴きます。今回は「吉岡町にどのような町になってほしいか」をテーマに、吉岡中卒業生の皆さんにお聴きしました。

私たちが聴きました



とみおか たいし 富岡 大志 議員



やまざき もりひと 山崎 守人 議員

吉岡に駅が欲しい。

狭い道が多くて、登下校の時に危険を感じるがあった。自転車も車も安全に通れる道にしてほしい。



道が暗くて危険。
もっと街灯を付けてほしい。



子どもの遊び場があり商業が発展し続ける町であってほしい。



高浜線まで安全に行ける道が欲しい。

吉岡にもフレックス
スクールが欲しい。

町民プールが欲しい。

運動施設（サッカーコート・テニスコート・陸上トラック・バレーボールコート）を充実させてほしい。

バスがないので出掛ける
ときが不便。自転車が親
に頼む以外に町外に出
る方法がない。もっと交通
手段を考えてほしい。



地域の人たちとのコミュニティーがつながりあっているような町になってほしい。

環境に優しい町に
なってほしい。

